

ふるさと教育 取組事例

学校名	美郷町立邑智小学校		
学年	主な教科等	主に関わる单元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
6	総合的な学習	バリ島マス村と美郷町	<ul style="list-style-type: none"> ・バリ島マス村：食事、音楽、舞踊、その他文化、美郷町との連携について ・国際交流員 アネタさん ・カヌー博物館 ・カヌークラブハウス
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシア バリ島マス村の伝統・文化・環境について自分なりに興味のある分野を見つけ、意欲的に調べたり聞いたりすることができる。 ・日本の伝統・文化・環境との違いを知り、良さや楽しさを理解するとともに、資料にまとめることができる。 		
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリ島マス村の文化・歴史学習 ・ガムラン体験 ・マス村とのつながりとなったカヌーについての学習 ・インドネシアの料理体験 ・舞踊体験 ・バリ島マス村と美郷町についてのまとめ資料づくり <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実感を伴う交流を大切にするため、国際交流員や、マス村の方の話を直接聞くようにした。 ○ふるさとへの理解・愛着を育てるため、姉妹連携都市となるきっかけとなったカヌーについて学んだ。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の教科とのつながりを意識して活動に取り組む(教科横断的にし、多角的な視点を持つ) <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○マス村に関係する方々と触れ合う中で、マス村と美郷町に対する思いを知り、自分たちのふるさと美郷町に愛着と誇りを持つことができるようになった。 ○インドネシアの文化と日本の文化の互いの文化について考え、互いの文化の違いや良さについて考えることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童は体験的な学習を行うことで、社会科「日本とつながりの深い国々」について理解を深めることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校でふるさと教育の系統性を図ることができるようにする。 ○教職員の地域への理解をさらに高めること。 ○地域教材・人材の更なる開発を地域学校支援コーディネーターと進める。 			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータを HP 等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

美郷町立邑智小学校 6年総合的な学習の時間「バリ島マス村と美郷町」



バリ舞踊体験



ガムラン体験



インドネシア料理体験

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)